

秘

陸密第三五三八號

(甲)

昭和十七年度陸軍航空部隊ニ於ケル航技下士官補充ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年十一月十七日

陸軍省副官 川原直一

昭和十七年度陸軍航空部隊ニ於ケル航技下士官補充ニ關シ別冊ノ通定メラレタルニ付依命通牒ス

陸軍

昭和十七年度陸軍航空部隊ニ於ケル航技下士官補充規定

第一條 本規定ハ昭和十七年度陸軍航空部隊ニ於ケル航技下士官補充ニ關シ必要ナル事項ヲ定ム

第二條 本規定ニ依リ陸軍航空廠又ハ野戰航空廠ニ分遣教育セシムヘキ者ハ昭和十五年徵集ノ兵科現役兵又ハ昭和十五年八月以降昭和十六年七月ノ間ニ召集セラレタル兵科豫備兵又ハ補充兵（戰車、裝甲車及通信部隊所屬者並ニ下士官候補者、工務兵及幹部候補生採用見込者ヲ除ク）ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スルモノノ中ヨリ之ヲ選定ス

一 大學令ニ依ル大學ノ工學部ニ於テ工學ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者

二 主トシテ工業ニ關スル學科ヲ教授スル專門學校（研究科、選科等ノ別科ヲ含ム）又ハ工業學校（國民學校初等科修了程度ヲ入學資格トスル修業年限二年若ハ國民學校高等科修了程度ヲ入學資格トスル修業年限一年又ハ之ト同等以上ノモノニ限ル）ヲ卒業シタル者ニシテ其ノ在校中左ノ實習科目（之ニ相當スル科目ヲ含ム）ノ一ヲ修得シタルモノ

機械科、工作機械科、內燃機械科、鍛工科、機械仕上科、兵器科、電氣科、電氣機械科、電氣通信科、電氣鐵道科、鐵道科、金屬工藝科、鍍金科、採鑛冶金科、航空科、電氣工學科、化學機械科、造船科

三 入隊又ハ應召前二年以上左ノ實務ニ從事シタル者

鍛工、鑄工、調質工、板金工、鍍金工、銅工、鍛鐵工、旋工、熔接工、「フライス」工、研磨工、飛行機工、自動車工、眼鏡工、計器工、仕上工、検査工、化學工、分析工、電氣工、無線工、製圖工、線工、機械工、

飛行機整備工、飛行機組立工、發動機組立工

第三條 聯隊長(之ニ準スル部隊長ヲ含ム以下之ニ同シ)ハ前條ニ規定スル資格ヲ具フル者ノ中現役航技下士官ヲ志願シ之ニ適スト認メタル者ヲ選定シ別紙様式ノ連名簿ヲ調製シ師團長又ハ軍司令官(之ニ準スル長官ヲ含ム以下之ニ同シ)ニ提出シ師團長又ハ軍司令官ハ之ヲ取覽メ昭和十七年一月二十日迄ニ到著スル如ク陸軍航空本部長ニ送付スヘシ

第四條 陸軍航空本部長ハ前條ノ書類ニ依リ採用豫定者約三〇〇名ヲ選定シ其ノ所管別人員ヲ昭和十七年二月十五日迄ニ到著スル如ク陸軍大臣ニ報告スルモノトス

陸軍大臣ハ之カ教育部隊區分、分遣人員、到著日時ヲ關係師團長若ハ軍司令官竝ニ航空本部長ニ達ス

第五條 航空本部長前條ノ達ヲ受ケタルトキハ採用者ヲ定メ其ノ人名ヲ關係師團長若ハ軍司令官竝ニ教育部隊長ニ通知スルモノトス

師團長又ハ軍司令官ハ前條ノ達及前項ノ通知ニ基キ聯隊長ヲシテ本人ヲ教育部隊ニ分遣セシム疾病其ノ他ノ事故ニ因リ前條第二項ニヨル到著日時迄ニ分遣セシメ難キ者アルトキハ其ノ所管別人員ヲ陸軍大臣ニ報告スルト共ニ其ノ人名ヲ教育擔任部隊長及陸軍航空本部長ニ通知スルモノトス

但シ一月以内ナルトキハ聯隊長ハ師團長又ハ軍司令官ノ認可ヲ受ケ其ノ分遣ヲ延期セシメ一月ヲ超ユルトキハ其ノ分遣ヲ取り止ムルモノトス

第六條 陸軍航空廠又ハ野戰航空廠ニ於テ行フ教育期間左ノ如シ

自 昭和十七年四月上旬

概 五 月

至 昭和十七年八月下旬

第七條 陸軍航空廠又ハ野戰航空廠ニ分遣セラレタル者所定ノ學術ヲ修得シタルトキハ教育擔任部隊長ハ成績列次名簿現役志願ノ有無ヲ調査シ併記ヲ調製シ且考科概況書ト共ニ關係師團長又ハ軍司令官及陸軍航空本部長ニ提出又ハ送付スルモノトス

第八條 前條ノ規定ニ依リ學術ヲ修得シ在營一年六月ニ滿ツル者ニ當該兵種ノ兵長ヲ命シ(既ニ兵長ヲ命セラレアル者ヲ除ク)陸軍航空部隊ニ於ケル航技下士官ノ勤務ニ服セシメ在營二年ニ滿ツルノ際現役兵技伍長ニ任ス

第九條 前條ノ兵技下士官又ハ兵技下士官要員ハ別ニ定ムルトコロニ據リ之ヲ航空部隊ニ轉屬シ兵技下士官ニ在リテハ直ニ航技下士官ヲ補充シ兵技下士官要員ニ在リテハ之ヲ兵技伍長ニ任シタル後航技下士官ヲ補充スルモノトス

第十條 本規定ノ技術部下士官要員ハ陸軍航空廠又ハ野戰航空廠ニ分遣ノ日ヨリ當該所屬部隊ノ上等兵又ハ兵長ノ階級上ノ定員外ト爲スコトヲ得

様式

技術部下士官要員連名簿(電氣關係)

第何師團(軍)

卒業學校名及其ノ所在地又ハ實務實習場所及其ノ所在地	適任 順序	修得 科目	入學資格修業年限又ハ實修年限	現所屬 部 隊	役種及徵集年次 又ハ應召月	等 氏 級	名
東京市 東京電機高等工業學校	1	電氣 工學	中等學校卒 三年	山砲六	豫備 昭和十 六月 應召	上 等 兵	佐藤大三
福岡縣 八幡製鐵所	2	電氣 工學	實習年限 五年	工五十二	現 昭和十 五年 徵集	一 等 兵	三好考一
秋田縣立秋田工業學校	3	電氣 科	國民學校初修 三年	步百七	現 昭和十 五年 徵集	一 等 兵	中村三郎

調製上ノ注意

- 一 本名簿ハ修得科毎ニ區分調製スルモノトス
- 二 本連名簿ハ二通提出スルモノトス

秘

### 陸密第三五五三號

(甲)

戰死及戰死(死亡)確認ノ區別ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年十一月十八日

陸軍省副官 川原直一

昭和十年陸達第二號戰時死亡者生死不明者報告手續ニ依ル報告中從來動モセハ戰死及戰死(死亡)確認ニ付判然區別スルコトナク彼此混同シタル觀念ノ下ニ取扱タル向アルモカクテハ此等ノ處理上重大ナル過失ヲ來ス懼アルニ付左記區分嚴守相成度依命通牒ス

記

一 戰死(死亡)確認 戰鬪間又ハ戰鬪直後死體收容ニ依リ戰死ヲ現認シタルモノ(生死不明ノ期間ヲ有セサルモノニ限ル)

二 戰死(死亡)確認 1 生死不明後死體發見シ其ノ人名ヲ概ネ判別シ得且認識票、被服及當時ノ狀況等ニ依リ戰死(死亡)ヲ確認シ得ルモノ等

2 其ノ他戰死(死亡)確認ニ關スル規定ノ條項ニ吻合スルモノ

尙從來ノ報告ニシテ右區分ト異リ取扱タルモノアル場合ニ於テハ此等ノ訂正ニ關スル報告ハ左記ノ通り處理セラ

レ度

記

第一	次	自昭和十四年七月三十一日	ノ分	可及的速カニ行フコト
第二	次	至昭和十四年十二月三十一日	ノ分	第一次ノ分終了次第行フコト
		昭和十五年一月一日以降ノ分		

陸軍

秘

陸密第三六一七號

(甲)

陸軍航空士官學校第二十二期學生ノ入校時期延期ニ關スル件達

陸軍一般

陸軍航空士官學校第二十二期學生ノ入校時期延期ニ關スル件左ノ通定ム

昭和十六年十一月二十二日

陸軍大臣 東條英機

陸軍航空士官學校第二十二期學生ノ入校時期ハ昭和十七年四月ニ之ヲ延期ス

陸軍

秘

### 陸密第三六九九號

(乙)

昭和十六年徵集現役兵中各部見習士官、技術候補生、軍醫候補生及操縱候補生ノ各採用豫定者ノ取扱ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年十一月二十九日

陸軍省副官 川原直一

昭和十六年徵集現役兵中昭和十七年一月採用スヘキ各部見習士官、技術候補生、軍醫候補生及操縱候補生ノ各採用豫定者ノ取扱ニ關シ左記ノ通定メラレタルニ付依命通牒ス

左記

- 一 内地部隊ニ入營スル者ニシテ昭和十七年一月末日迄ニ滿洲、支那等外地ニ派遣セラルヘキ者ニ在リテハ之ヲ當該部隊ニ殘置スルモノトシ不採用トナリタル者ハ當該部隊ノ缺員ニ件ヒ其ノ定員内ニ繰入ルルモノトス
- 二 大阪、廣島、門司又ハ福岡ニ於テ集合地入營ヲ爲スヘキ者(朝鮮ニ在ル部隊ニ入營スル者ヲ除ク)ニ在リテハ之ヲ集合地ノ區分ニヨリ留守第四師團、留守第五師團又ハ留守第五十六師團ノ當該師團長ノ定ムル部隊ニ轉屬スルモノトス
- 前項人員ハ當該部隊ノ定員外トス
- 三 留守第四、留守第五、留守第五十六師團長ハ前項轉屬者中不採用トナリタルトキハ之ヲ當該部隊ノ缺員ニ件ヒ其ノ定員内ニ繰入ルルモノトシ兵種(隊種)ノ關係上他ニ轉屬スルヲ適當トスル者アルトキハ當該者ノ原所屬部隊本籍地及氏名ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

陸軍



秘

### 陸密第三七七六號

(甲)

私的制裁絶滅ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年十二月七日

陸軍次官 木村兵太郎

私的制裁カ軍隊ノ團結ヲ破壊シ對上官犯或ハ逃亡離隊等ノ重ナル動機ヲ醸成シ又軍民離間ノ素因トナルコトニ關シテハ敢ヘテ贅言ヲ要セサル所ナルモ近時特編部隊ノ増加ニ伴ヒ私的制裁激化ノ傾向ヲ看ルハ寔ニ遺憾ニ堪ヘサル所ナリ

時局ノ進展ハ軍ノ負荷スル任務ヲ益々加重シ軍隊ハ兵力増加ニ伴フ兵員素質ノ低下其ノ他一切ノ惡條件ヲ克服シテ其ノ團結親和ヲ強化スルノ要愈々切ナルモノアリ近ク初年兵ノ入隊ヲ迎ヘントスルニ際シ幹部特ニ下級幹部ノ内務指導能力ノ向上就中兵員兵室ニ親炙シテ行フ周密ナル監督指導ヲ透徹セシメ信賞必罰ト相俟ツテ私的制裁ノ根絶ヲ期セラレ度依命通牒ス

追テ別冊私的制裁ニ關スル觀察ヲ參考ノ爲別途送付ス

126  
陸軍

秘

陸密第三八一六號

(甲)

陸軍病院衛生兵派遣規則中改正ノ件達

陸軍病院衛生兵派遣規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十日

陸軍大臣 東條英機

第九條 第七條ノ規定ニ依リ被派遣部隊ニ居住セシムル衛生兵ノ携帶兵器ハ所屬陸軍病院ヨリ携行セシメ其ノ保続ハ當該陸軍病院ノ負擔トシ被服ノ整備竝ニ取扱ニ關シテハ昭和十五年陸普第七四〇七號及同第七四一九號ノ定ムル所ニ依ル

附則第二項中「陸軍防空學校、陸軍自動車學校、盛岡陸軍豫備士官學校及久留米陸軍豫備士官學校」ヲ「及陸軍防空學校」ニ改ム

附表中前橋陸軍病院ノ部中各「九」ヲ各「一〇」ニ改ム

同表中關東軍司令官ノ規定スル陸軍病院ノ部中奉天陸軍豫備士官學校ノ項ヲ削ル

陸軍

128

秘

陸密第三八二〇號

陸軍航空諸學校少年飛行兵、下士官候補者及生徒ノ在營(修學)期間短縮ニ關スル件達

陸軍一般

時局ノ爲陸軍航空諸學校少年飛行兵、下士官候補者及生徒ノ在營(修學)期間ヲ別紙ノ通短縮ス

昭和十六年十二月十日

陸軍大臣 東條英機

陸軍

(甲)

陸軍航空諸學校少年飛行兵下士官候補者及  
生徒ノ在營(修學)期間短縮區分表

陸軍航空諸學校				陸軍航空通信學校			宇都宮陸軍飛行學校				大刀洗陸軍飛行學校				熊谷陸軍飛行學校				學校名
生	生	少年飛行兵	下士官候補者(武裝)	生	生	少年飛行兵	生	生	少年飛行兵	少年飛行兵	生	生	少年飛行兵	少年飛行兵	生	生	少年飛行兵	少年飛行兵	種
(技第十一術期)	(技第十術期)	(技第九術期)	(武裝)	(通第六信期)	(通第五信期)	(通第三信期)	(操第十一縱期)	(操第十縱期)	(操第九縱期)	(操第八縱期)	(操第十一縱期)	(操第十縱期)	(操第九縱期)	(操第八縱期)	(操第十一縱期)	(操第十縱期)	(操第九縱期)	(操第八縱期)	類
昭和十七年六月	昭和十七年一月	昭和十七年五月	昭和十七年二月	昭和十七年六月	昭和十七年一月	昭和十七年一月	昭和十七年六月	昭和十七年一月	昭和十七年六月	昭和十七年一月	昭和十七年六月	昭和十七年一月	昭和十七年六月	昭和十七年一月	昭和十七年六月	昭和十七年一月	昭和十七年六月	昭和十七年一月	終業期
昭和十七年九月末卒業スヘキ者トシ約三月短縮スルモノトス	昭和十七年三月末卒業スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年九月末在營期間満了スヘキ者トシ約四月短縮スルモノトス	約六月短縮スルモノトス	昭和十七年九月末卒業スヘキ者トシ約三月短縮スルモノトス	昭和十七年三月末卒業スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年三月末在營期間満了スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年八月末在營期間満了スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年三月末卒業スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年八月末在營期間満了スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年三月末卒業スヘキ者トシ約三月短縮スルモノトス	昭和十七年九月末卒業スヘキ者トシ約三月短縮スルモノトス	昭和十七年三月末卒業スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年八月末在營期間満了スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年三月末卒業スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年九月末卒業スヘキ者トシ約三月短縮スルモノトス	昭和十七年三月末卒業スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年八月末在營期間満了スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	昭和十七年三月末卒業スヘキ者トシ約二月短縮スルモノトス	摘要
陸軍航空諸學校	陸軍航空諸學校	陸軍航空諸學校	陸軍航空諸學校	陸軍航空通信學校	陸軍航空通信學校	陸軍航空通信學校	宇都宮陸軍飛行學校	宇都宮陸軍飛行學校	宇都宮陸軍飛行學校	宇都宮陸軍飛行學校	大刀洗陸軍飛行學校	大刀洗陸軍飛行學校	大刀洗陸軍飛行學校	大刀洗陸軍飛行學校	熊谷陸軍飛行學校	熊谷陸軍飛行學校	熊谷陸軍飛行學校	熊谷陸軍飛行學校	

秘

陸密第三八七一號

(乙)

轉補御禮ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年十二月十八日

陸軍次官 木村 兵太郎

宮中、大宮御所、宮邸ニ參内及伺候御禮ノ儀ハ自今戰時中親補職ノ者(軍事參議官ヲ除ク)及方面軍、獨立セル軍以上ノ幕僚長ノ補職ニ關スルモノニ限り記帳ヲ取止メ左記ニ據ルコトニ改メラレタルニ付依命通牒ス  
追テ右ハ人事ノ異動ニ依ル軍ノ企圖窺知ノ端緒ヲ一般人ニ對シ防止セントスル措置ニ付爲念

左記

- 一 宮中ニ參内御禮ノ場合  
侍從武官ヲ經テ侍從長及皇后宮大夫ニ、若クハ直接侍從長ニ名刺ヲ提出シ御禮執奏方申出ツルコト
- 二 大宮御所及各宮邸ニ伺候御禮ノ場合  
官氏名ヲ記シタル名刺ヲ封入シ名刺及封筒表面ニ轉補御禮ト記載シ提出スルコト

陸軍

129

130

秘

陸密第三八七二號

(甲)

戰時陸軍報告規程第九條戰地指定ノ件陸軍一般へ通牒

昭和十六年十二月十八日

陸軍省副官 川原直一

昭和十六年十二月八日以降東亞ニ於ケル英、米領及泰國ヲ昭和十六年三月四日陸普第一三八九號戰時陸軍報告規程第九條ノ戰地ニ指定セラレタルニ付依命通牒ス

陸軍

秘

陸密第三九一二號

昭和十七年度幹部候補生ノ採用等ニ關スル件陸軍一般へ通牒

昭和十六年十二月二十二日

陸軍省副官 川原直一

首題ノ件ニ關シ左記ノ通定メラレタルニ付依命通牒ス

左記

一 幹部候補生ノ採用區分、採用範圍、採用期日及甲、乙種區分期日

採用區分	採用範圍			採用期日	甲、乙種區分期日
	第一次	第二次	第三次		
一般ノ者	自昭和十六年四月十一日 至昭和十七年二月一日 (二月二十日以降入營ノ在支部隊ノ要員ヲ除ク)	自昭和十七年二月二日 至昭和十七年四月三十日 (二月二十日以降入營ノ在支部隊ノ要員ヲ含ム)	自昭和十七年五月一日 至昭和十七年十月二十日	昭和十七年四月一日	昭和十七年四月二十日
	自昭和十七年二月二日 至昭和十七年四月三十日 (二月二十日以降入營ノ在支部隊ノ要員ヲ含ム)	自昭和十七年五月一日 至昭和十七年十月二十日	自昭和十七年十一月一日 至昭和十七年十二月三十日	昭和十七年八月二十日	昭和十七年十月十日
航空ノ者	自昭和十七年四月十一日 至昭和十七年九月三十日	自昭和十七年九月二日 至昭和十七年三月三十一日	自昭和十七年五月一日 至昭和十七年十月二十日	昭和十七年七月一日	昭和十七年八月十日
	自昭和十七年四月十一日 至昭和十七年九月三十日	自昭和十七年九月二日 至昭和十七年三月三十一日	自昭和十七年五月一日 至昭和十七年十月二十日	昭和十七年十二月十日	昭和十八年二月一日

陸軍省副官 川原直一

(甲)







考 備	合 計																	

(註)

一本表ハ陸軍補充令第五十三條ニ依ル幹部候補生志願者人員及其ノ同第五十四條該當者人員ヲ示シ「七條ノ二ノ區分」ハ  
兵役法施行規則第七條ノ二ノ區分ヲ示ス

二各兵種ノ要員區分「」内ハ要員區分ヲ示ス」ハ左ニ依ルモノトス

步兵、歩兵中隊、機關銃、速射砲、戰車、輕裝甲車、野(山)砲兵、野砲自(馬)、山砲、十榴、騎砲兵、野戰重砲兵「十五榴馬」、重  
砲兵、高射砲兵、高射砲、高射機關砲、照空、砲兵情報兵、氣球兵、工兵「甲中隊、乙中隊、丙中隊、丁中隊、戊中  
隊、野戰測量、野戰作井(電氣)」、鐵道兵、電信(無線情報)兵、「有線、無線、特種無線、固定無線」、航空兵、機關、  
金屬、電氣、無線、通信、自動車、武裝、氣象、高射機關銃、高射砲、輜重(自動車)兵「自動車、鞍馬、馱馬」、衛  
生兵

三技術部ノ資格者ニ付テハ昭和十五年十二月陸普第九〇三八號ニ依ル技術部幹部候補生ニ適當ナル科目專攻ノ者ヲ掲ク  
ルモノトシ其ノ科目ヲ明カニセル屬表(附錄樣式屬表)ヲ添附スルモノトス

經理(主計)部ノ資格者ハ法律、經濟、商業ニ關スル學科ヲ修業セル者ヲ掲クルモノトシ土木、建築及衣糧(應用化學、  
染色、紡織、農藝化學修業者)資格者ハ之ヲ技術部ノモノニ併記スルモノトス

四本表調製ニ方リテハ現役兵ト補充兵及其ノ採用次毎ニ之ヲ別紙トスルモノトス

附錄樣式屬表

技術部幹部候補生資格者修業科目區分表

科目區分	資格者全數		航空		造船		機械		造兵		電氣		冶金		化學		火藥		燃料		物理		土木		工藝			
	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二		
兵	種	分	種	分	種	分	種	分	種	分	種	分	種	分	種	分	種	分	種	分	種	分	種	分	種	分	種	分
七條ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二	ノ二
號一	號二	計小	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二	號一	號二
兵	戰車兵	步兵	騎兵	迫撃(輕裝甲車)兵	迫撃(特種自動車)兵																							
合計																												
備考																												

(註)  
 一 本表ハ附錄樣式註記第三號第一項ノ修業科目區分ヲ示スモノトス  
 二 兵種ハ附錄樣式ノモノニ同シ(要員區分ニ分ツテ要セス)

秘

陸密第三九四六號

(乙)

主計中(少)尉ノ位置ニ對シ主計准尉充用ニ關スル件陸軍一般へ通牒

陸軍省副官 川 原 直 一

昭和十六年十二月二十四日

當分ノ内陸軍平時編制第三十一條ノ規定ニ依リ主計中(少)尉ノ位置ニ對シ主計准尉ヲ充ツル件ニ關シ左記ノ通定メ  
ラレタルニ付依命通牒ス

追テ昭和十二年陸密第二八五號(關係軍、師團參謀長其ノ他へ通牒)ハ廢止セラレタルニ付申添フ

左 記

- 一 所管長官ハ主計中(少)尉ノ缺員ニ對シ概ネ缺員ノ二分ノ一以内ヲ限リ主計准尉ヲ以テ之ニ充ツルコトヲ得
- 二 前號ニ依ル主計准尉ハ當該部隊ノ中(少)尉ノ充足ニ伴ヒ逐次主計准尉ノ定員内ニ繰入ルルモノトス
- 三 所管長官ハ第一號該當者アラハ其ノ職氏名ヲ、爾後異動アルトキハ其ノ異動事項ヲ陸軍大臣ニ報告スルモノトス

陸 軍

秘

### 陸密第三九九四號

(甲)

陸軍憲兵學校乙種學生、同丙種學生ノ修學期間短縮ニ關スル件達

陸軍一般

昭和十六年八月入校ノ乙種學生及昭和十六年十二月入校ノ丙種學生ノ修學期間ヲ左ノ通短縮ス

昭和十六年十二月二十九日

陸軍大臣 東條英機

區	分	短縮期間
昭和十六年八月入學セシ陸軍憲兵學校乙種學生	概	概 四 月
昭和十六年十二月入學セシ陸軍憲兵學校丙種學生	概	概 四 月

陸軍

Doc #2198

秘

昭和十六年十二月七日

陸密第三七七六號別冊

私的制裁ニ關スル觀察

昭和十六年十二月陸軍省印刷

# 私的制裁ニ關スル觀察

## 目次

第一章 私的制裁ノ傾向	一頁
第二章 私的制裁ト犯罪トノ關係	二頁
第三章 私的制裁ニ對スル觀察	五頁
第一節 階級別、役種別	五頁
第二節 發生ノ場所	七頁
第三節 發生ノ時期、時刻	九頁
第四節 方法	一〇頁
第五節 原因、動機	一二頁
第四章 私的制裁絶滅對策ニ就テ	一四頁
附表第一 私的制裁ニ基因スル犯罪ノ種類別比率表	
附表第二其一、其二 私的制裁ヲ受ケタル動機調査表	
附錄 私的制裁ニ基因スル主要犯罪事例	



# 私的制裁ニ關スル觀察

## 第一章 私的制裁ノ傾向

昭和十二年以降過去五年間内地軍隊ニ於ケル私的制裁ニ基因スル犯罪數ノ總犯罪數ニ對スル比率左表ノ如ク

私的制裁ニ基因スル犯罪比率表

備考	果 (平均計)	昭和十六年 (九月迄)	昭和十五年	昭和十四年	昭和十三年	昭和十二年	年 次 區 分	
							發生數	比率
本表ハ私的制裁ニ基因シ發生シタル各犯罪ト同種ノ犯罪總數トノ比較ヲ示ス	118 330	14 49	31 74	24 71	19 57	30 79	發生數	制裁者側ノ犯罪
	(35.8%)	14.6%	41.9%	33.8%	33.3%	38%	比率	
	89 2088	18 346	15 426	12 388	32 692	12 236	發生數	被制裁側ノ犯罪
	(4.3%)	5.2%	3.5%	3.1%	4.6%	5.1%	比率	
	207 2418	32 395	46 500	36 459	51 749	42 315	發生數	計
	(8.6%)	8.1%	9.2%	7.8%	6.8%	13.3%	比率	
	12 539	3 75	3 134	2 134	2 87	2 109	發生數	自
	2.2%	4.0%	2.2%	1.5%	2.3%	1.8%	比率	殺

ニシテ概ネ逐年増加ノ傾向ヲ示シアリ特ニ昭和十二年計ノ13.3%、昭和十六年ノ被制裁者側犯罪ノ5.2%及ヒ同年ノ自殺4.0%等ノ他年ニ比シ増大シアルハ私的制裁方職時事變ノ當初ニ於テ激化頻發スル傾向ニアルヲ看取シ得ヘシ  
右ハ單ニ犯罪ヨリ見タルモノナルモ秘密裡ニ行ハレ又ハ輕易ニシテ犯罪ヲ形成スルニ至ラサル私的制裁ニ就テモ亦同様ノ傾向ニアルハ敢ヘテ想察ニ難カラサル所ニシテ私的制裁ニ關スル投書ノ最近特ニ多キハ一面之カ眞實ヲ物語ルモノト考ヘサルヲ得ス

## 第二章 私的制裁ト犯罪トノ關係

昭和十二年以降ノ私的制裁ニ基因スル犯罪人員ハ二〇七名ニシテ同期總犯罪人員數四、八六二名ノ四・三%、前表ノ如ク同種ノ犯罪總數ノ八・六%ヲ示シアリ之カ犯罪種別毎ノ人員及同種別總數ニ對スル比率左ノ如ク

1 私的制裁行爲ニ依ル犯罪

殺 人	一名(同犯罪總人員ノ)	4.8%
傷 害	一〇九名(〃)	37.6%
職務執行妨害	五名(〃)	45.5%
哨兵暴行侮辱	二名(〃)	40.0%
凌 虐	一名(〃)	33.3%
計	一一八名(〃)	35.8%

2 私的制裁ニ依リ誘發セル犯罪

對上官犯	五〇名(同犯罪總人員ノ)	7.0%
逃 亡 罪	二四名(〃)	3.9%
軍用物毀棄	一二名(〃)	3.8%
傷 害	一名(〃)	0.3%
兵役免脫	二名(〃)	6.9%

制裁者側ハ傷害罪(一〇九名)、被制裁者側ハ對上官犯(五〇名)最モ多ク次テ逃亡罪(二四名)、軍用物毀棄(一二名)ノ順序ヲナシアリ

更ニ特殊ナル犯罪ニ就テ詳説スレハ

### 1 對上官犯

昭和十二年以降對上官犯中私的制裁ニ基因スルモノ左ノ如ク

年 次	發生數總數	比率
昭和十二年	4 / 76	5.3%
昭和十三年	29 / 480	6.0%
昭和十四年	5 / 71	7.0%
昭和十五年	5 / 41	12.2%
昭和十六年 (九月迄)	7 / 48	14.6%
累 計 (平均)	54 / 716	7.0%

ニシテ逐年急激ナル増加ヲ見セアリ  
 特ニ昭和十六年14.6% (數年ノ平均値7.0%) ニ達シアルコトハ看過スヘカラサル點ナリトス

2 逃亡離隊

昭和十二年以降ニ於ケル逃亡離隊者中私的制裁ニ基因セリト認めラルルモノハ

昭和十二年	一〇名 (同期逃亡離隊ノ)	2.0%
昭和十三年	一八名 (〃)	2.6%
昭和十四年	三二名 (〃)	3.3%
昭和十五年	四二名 (〃)	4.0%
昭和十六年 (九月迄)	一九名 (〃)	2.3%
計 (平均)	一二一名 (〃)	3.1%

ニシテ數及比率共逐年増加ノ狀況ヲ示シアリ特ニ最近逃亡入蘇シ逆用セラレ入滿シタル兵ノ總テカ私的制裁ヲ共ノ動機トナシアル點ハ私的制裁ニ對スル考察上大イニ考慮ヲ要スル所ナルヘシ

3 私的制裁ニ基ク犯罪ト他ノ原因トノ關係

發生犯罪者二〇七名中他ノ原因トノ關係左表ノ如ク

他ノ原因	制裁者側犯罪	被制裁者側ノ犯罪	計
飲酒酩酊ノ結果	二〇名	一〇名	三〇名
前科者	一名	七名	八名

生來ノ惡癖、怠惰 一名 五名 六名  
 幹部統御上ノ缺陷 三名 三名  
 身體虛弱 二名 二名  
 變質精神異常者 一名 一名  
 ニシテ飲酒酩酊ノ結果ニ基クモノ最多ナルヲ示シ酒癖其ノ他特殊性格者ニ對スル指導訓育ハ特ニ留意ノ要アリト認めム

第三章 私的制裁ニ對スル觀察

第一節 階級別、役種別

一、階級別ニ區分スレハ左表ノ如ク

階級別	制裁者人員	被制裁者人員
將校	一八名	一名
下士官	五六名	九名
兵	一〇〇名	一二四名
古參兵	一名	二〇三名
初年兵	三名	二八名
補充兵		
階級不明		二名

ニシテ制裁者被制裁者共古參兵ニ最モ多ク次テ制裁者ニ於テハ下士官將校ノ順位ニ被制裁者ニ於テハ初年兵補充兵ノ順ナリ

更ニ之ヲ制裁者被制裁者ノ關係ニ就テ内譯スルニ

- (1) 將校一八名ハ下士官(五名)古參兵(一三名)初年兵(二名)ヲ制裁シ
- (2) 下士官五六名ハ下級下士官(四名)古參兵(九九名)初年兵(一八名)補充兵(八名)ヲ
- (3) 古參兵一〇〇名ハ古參兵(一二名)初年兵(八二名)補充兵(一八名)階級不明(一名)
- (4) 初年兵一名ハ補充兵一名ヲ
- (5) 補充兵三名ハ初年兵(一名)補充兵(一名)階級不明(一名)ニ

各々制裁ヲ加ヘアリ

尙被制裁者側ニ於テ最モ多數ヲ占ムル古參兵一二四名ハ將校(一〇名)下士官(三三名)古參兵(三名)ヨリ制裁セラレ初年兵一〇三名ハ將校(二名)下士官(一四名)古參兵(六八名)補充兵(一名)ヨリ制裁セラレアリ之ヲ要スルニ古參兵初年兵間及下士官古參兵間ニ最モ多ク制裁行爲ノ行ハレアルヲ窺知セラル

二 役種別ニ區分スレハ左表ノ如ク

役種別	制裁人員	被制裁者人員
現 役	一四五名	一六六名
豫 備 役	二三名	四五名
補 充 兵	七名	五五名

不 明 三名 一名

制裁者側ヨリ見レハ現役豫備役補充兵ノ順位ニシテ被制裁者側ヨリ見レハ現役、補充兵、豫備兵ノ順位ナリ又役種別毎ノ制裁關係ヲ示セハ

制裁者側ニ於テハ

- (1) 現役一四五名ハ現役一五二名、豫備役三一名、補充兵四三名ニ對シ制裁シ
- (2) 豫備役二三名ハ現役一二名、豫備役一四名、補充兵一四名、補充兵三名、不明一名ニ
- (3) 補充兵七名ハ現役一名、補充兵六名ニ對シ各々制裁ヲ加ヘアリ

一方被制裁者側ニ於テハ

- (1) 現役一六六名ハ現役一一三名、豫備役一三名、補充兵一名ヨリ制裁セラレ
  - (2) 豫備役四五名ハ現役一〇名、豫備役五名ヨリ
  - (3) 補充兵五五名ハ現役二二名、豫備役三名、補充兵六名、不明三名ヨリ各々制裁セラレアリ
- 之ヲ要スルニ現役相互間及現役對豫備役間ニ最モ多ク制裁行爲ノ行ハレアルヲ窺知セラル

第二節 發生場所

昭和十二年以降ノ犯罪ヲ場所的ニ統計スルニ

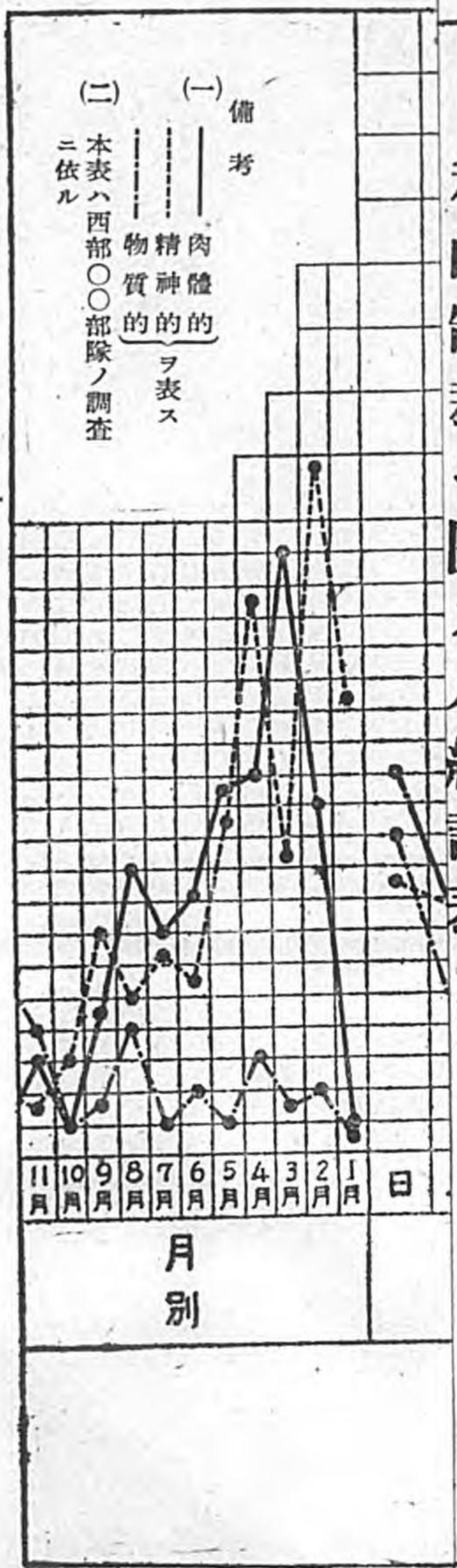
1 隊内

内 務 班

七二件

挿圖

私的制裁ニ關スル統計表 (百分比)

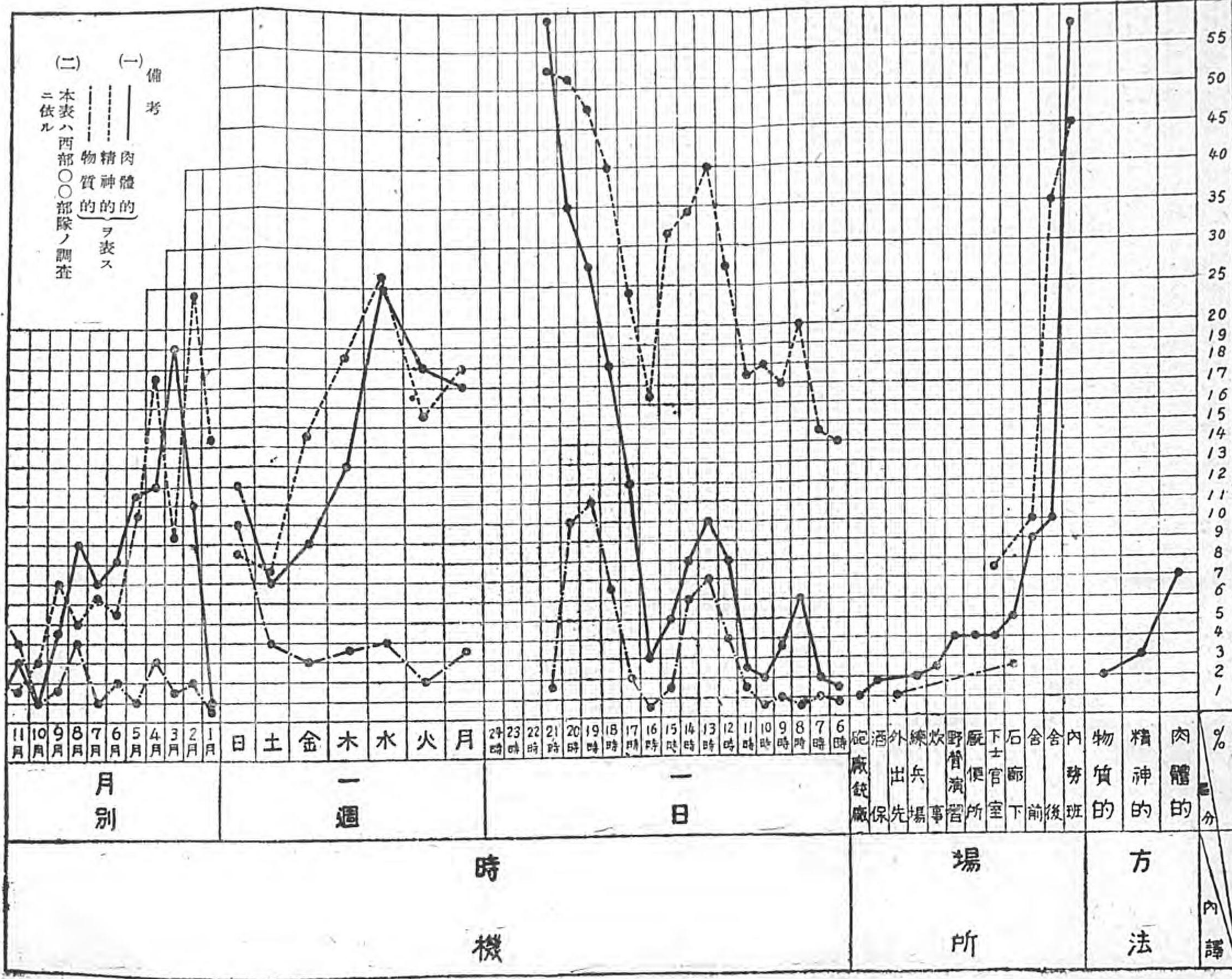


(一) 備考  
 肉體的  
 精神的  
 物質的  
 本表ハ西部〇〇部隊ノ調査ニ依ル

又某部隊ノ無記名調査ノ結果ハ挿圖ノ如ク  
 隊内特ニ内務班カ斷然多數ヲ占メ次イテ舍前舍後ニ多ク發生シアルヲ示シアリ唯無記名調査ニ依ルモノハ演習場ニ於テ行ハルルモノノ尠カラサルヲ特異トシ又兩調査共外出先ニ於ケルモノノ少キハ共ニ軍隊ニ於ケル私的制裁ノ本質ヲ

事務室廊下	一二件
既	八件
演習場	七件
下士官室	七件
炊事場	五件
酒保	四件
將校集會所	一件
其他隊内	三六件
計	一五三件
2 隊外	
演習先	七件
外出先街路上	六件
同飲食店	四件
同遊廓	一件
計	一八件

私的制裁ニ關スル統計表 (百分比)



(一) 備考  
 肉體的  
 精神的  
 物質的  
 ヲ表ス

(二) 本表ハ西部  
 〇部隊ノ調査  
 ニ依ル

時機

場所

方法

内譯

觀フニ足ルモノトシテ注目ニ値ス

### 第三節 發生ノ時刻及期節

前挿圖ヲ觀察スルニ私的制裁ハ十七時乃至二十一時頃ニ多發スルヲ示シアリ、是レ同時刻ハ一日中最モ長ク新古兵同居シ而モ幹部ノ監視不十分ニシテ暗黒ヲ利用シ得ルヲ以テナルヘシ即チ日夕點呼前後、消燈時限前後ヲ最多トシ起床時限前後、晝食時及演習整列前後等ノ順位ニ多發スルモノト想像セラレ又期節的ニ見ルニ、三、四月頃ニ多發スルヲ示シアリ即チ

- 1 初年兵入隊後概ネ二ヶ月餘漸ク軍隊生活ニ慣レ各々個性ヲ發揮シ初ムル時期
- 2 第一期檢閲前後ニシテ助教助手カ好成绩ヲ得ント努力ノ餘リ神經過敏トナリアル時期
- 3 其ノ他檢閲檢査ノ前後
- 4 射撃、劍術教育ノ盛ナル時期
- 5 上等兵候補者修業中
- 6 古參兵ノ除隊直前
- 7 古參兵夜間演習、衛兵勤務其ノ他勞多キ勤務ヨリ歸リタル場合
- 8 休日外出及休暇外泊ヨリ歸營シタル場合
- 9 梅雨時下士官兵漸ク身心ノ遲緩ヲ來サントスル時期
- 10 蚊帳ヲ張ル時期

等ヲ多發ノ時期ト認ムルヲ得ヘシ

#### 第四節 方法

傷害罪八九件一〇九名ニ就キテ見ルニ

兵器 二四件

手拳又ハ手掌 四三件

靴類 九件

等其ノ主ナルモノニシテ手掌ニヨルモノ多シ、而シテ私的制裁ノ方法ハ一般的ニ左ノ如ク分類シ得ラレ肉體ニ加フルモノノ最モ多キハ前挿圖ニ示ス所ノ如シ

##### 1 肉體ニ加フルモノ

イ 手足器物ヲ以テ毆打又ハ突キ或ハ蹴ル

器物ニハ兵器、上靴、帶革、洗矢、天幕ノ支柱、控枕、藥室掃除棒、竹刀、木銃等アリ

ロ 相互ニ毆打セシム

ハ 銃其ノ他重量物ヲ長時間捧ゲ或ハ負ハシム

ニ 端座又ハ不動ノ姿勢ヲ長ク採ラセ又早駆据銃等ヲ猛烈ニ實施セシム

ホ 武技ヲ惡用ス

ヘ 班内ノ雜役ヲ多ク課ス

##### 2 精神ニ加フルモノ

ト 冬期寒キ日ニモ煖爐ニ近ゾケズ

イ 故意ニ冷淡殘酷ナル言動振舞ヲナス

ロ 初年兵ノ秘密ヲ暴露シ赤恥ヲカカス

ハ 不注意ノ過失ヲ故意ニ罵倒侮辱シ或ハ所謂氣轉ノキカサル者及學歷、育子等良好ナル者ニ對シ故ラニ厭味

皮肉ヲ言フ

##### 3 物質的

初年兵ノ尊敬心ヲ利用シ物質的強要ヲナスモノ例ヘハ

イ 酒保又ハ兵營外ニ於ケル飲食ノ饗應

ロ 物品ヲ贈與セシメ又ハ金錢ヲ借用シテ返却セズ

ハ 煙草、葉書、日用品等ヲ借り其ノ儘放置ス

而シテ年ト共ニ漸次惡辣巧妙化スル傾向ヲ窺ハルルハ大イニ警戒ヲ要スル所ニシテ精神的、物質的制裁ハ勿論肉體的制裁中ニ於テモ誤解ニ基クモノ、上級者ノ橫暴ニ依ルモノ或ハ殘虐ナルモノノ如キハ軍隊ヲ暗黒化スルコト特ニ甚クシキモノアリト想像セラレ

#### 第五節 原因、動機

昭和十二年以降ノ犯罪ニ就キテ見ルニ



態度不遜ナリトスルモノ

五二件

缺 禮

一〇件

内 務 不 良

軍紀弛緩セリトシ

一〇件

兵器被服物品ノ保存手入不良

二〇件

一 般 不 良

四〇件

教練演習怠慢ナリトシ

一一件

勤務怠慢ナリトシ

一六件

全然誤解ニ基ク

二件

非行ヲ上司ニ密告セリトテ

一件

侮辱的言辭ヲ弄セリトテ

一件

單ニ氣ニ喰ハヌトテ

一件

歸還兵ニ對スル處置惡シキトテ

一件

ニシテ被制裁者ノ態度不遜ナリトテ制裁セルモノ最モ多ク内務不良就中軍紀弛緩、兵器被服物品ノ手入不良又ハ一般の内務不良ナリトテ制裁セルモノ又ハ教練演習勤務怠慢ナリトテ之ヲ矯正シクルモノ之ニ次キアル狀況ナルモノ一部ニ於テハ概ネ上級古參者ノ横暴又ハ誤レル優越感ニ基因スト認メラルルモノアリ  
右ハ現ハレタル犯罪上ヨリ見タル原因ナルモ尙某部隊ノ無記名調査ニ依レハ附表第二其一共二ノ如クニシテ被制裁者

側ヨリノ調査ニ於テモ亦内務上ノ原因ニ基クモノ多キヲ看取シ得ヘシ、而シテ從來ヨリ原因動機トシテ一般ニ述ヘラレアルモノヲ附記スレハ次ノ如シ

1 古參兵ノ初年兵ニ對スル義憤ヨリ發スルモノ

イ 教育ニ熱心ナル餘リ其ノ度ヲ越エ或ハ切磋琢磨ノ誤謬ニヨルモノニシテ初年兵ニ左ノ如キ過失アリタル場合ニ多シ

上官ノ注意ヲ守ラサル場合

愚鈍又ハ不熱心ニテ物覺ノ惡シキ場合

動作敏捷ナラサル場合

内務ノ實行不確實ナル場合

武器被服ノ手入不良ナル場合

怠慢ニ失スル場合

ロ 初年兵カ古參兵ニ對シ、缺禮或ハ禮儀ヲ失シ又ハ物ノ言ヒ方亂暴ニシテ態度不遜ナル場合及古兵參ノ注意ヲ無視シタル場合

2 教育、經歷及能力程度ノ差異ヨリ古參兵ノ嫉視初年兵ノ輕侮ニ基クモノ

3 軍隊内務ノ誤レル躰方ニ基クモノ

4 古參兵カ自己ノ自尊心ヲ満足セシムル爲行フモノ

5 自ラ古參兵ブリ或ハ腕力ヲ誇示スル等古參兵ノ權力ヲ弄セントスル欲望ヨリ來ルモノ

- 6 自己カ加ヘラレタル故ヲ以テ加フルモノ
- 7 上官ヨリ叱責セラレ又ハ進級ノ選ニ漏レタル等ノ私憤ヲ初年兵ニ依リ慰セントスルモノ
- 8 性來ノ殘虐性及飲酒癖ニ依ルモノ

#### 第四章 私的制裁絶滅對策ニ就テ

私的制裁カ雷ニ軍隊ニ於テ絶對ニ許スヘカラサル對上官犯ノ動機トナリ逃亡、離隊等各種犯罪ノ原因トナルノミナラス親和明朗ナルヘキ軍隊家庭ヲ暗黒化シ團結ヲ破壊シ惹イテハ銃後ノ信賴ヲ裏切り反軍反戰思想醸成ノ重大原因ヲナス等軍隊ニ於ケル最モ忌ムヘキ惡弊タルハ敢テ贅言ヲ要セサル所ニシテ而モ遺般ノ特編ト共ニ特ニ激化ノ傾向ヲ窺知セラルルハ國軍ノ爲塞心ニ堪ヘサル所ナリ、今ヤ皇軍ハ外赫々タル大勝ヲ博シ精強眞ニ世界ニ冠タルモノアリト雖モ時局ノ推移ハ總力戰態勢ノ完備ヲ急務トシ軍民ノ協力亦愈々緊密ナラシムルヲ要スル際軍隊内ノ非違ハ銃後ニ對シ益々鋭敏ニ作用シ戰況ノ進展變化ニ伴ヒ軍民離間ノ策謀亦之ニ乘ズルノ虞決シテ尠シトセス

特ニ私的制裁ハ事血肉ヲ分チタル愛兒親愛ナル夫ノ身上ニ關スルモノナルヲ以テ其ノ與フル感作ノ深刻ナルコト寔ニ言語ニ絶スルモノアルハ何人ト雖モ首肯シ得ル所ナルヘシ皇軍カ眞ニ總力戰ノ中核トシテ國家ノ負托ニ背カサランタメニハ此ノ惡習ヲ根本ヨリ打破絶滅シ以テ銃後國民ノ絶對ノ信賴ヲ得ルコトニ努メサルヘカラス

而シテ私的制裁絶滅ノタメニハ前述ノ諸觀察ヲ基礎トシ之ニ各部隊ノ特種事情ヲ斟酌シ之カ具體的對策ヲ立案實施セサルヘカラサルモ以下單ニ犯罪上ヨリ觀察シ其ノ對策ノ一端ヲ述ヘ參考ニ供セントス

##### 一 制裁者側ニ對スル所見

###### 1 兵營生活ノ要義ノ訓化體得

私的制裁ノ行ハルルハ時トシテ幹部及古參兵ノ熱情ノ迸出ヨリ發スルモノナシトセサルモ其ノ大部ノ不純ナル感情ヲ動機トスルモノナルコトハ多發時機カ幹部監視ノ不十分ナル時刻ナルニヨリ容易ニ之ヲ察知シ得ヘシ此ノ不純ナル感情ハ先ツ精神教育ヲ以テ矯正セサルヘカラス

「上級の者は下級のものに向ひ聊も輕侮驕傲の振舞あるへからず、公務の爲に威嚴を主とする時は格別なれども其外は務めて懇に取扱ひ慈愛を専一と心掛け上下一致して王事に勤勞せよ」トノ御諭ヲ眷々服膺シアラハ私的制裁ノ行ハルルカ如キコト決シテ有り得ヘカラサル事ニシテ此ノ際特ニ感激拜誦スルノ要アリ又軍隊内務書ニ於テハ綱領ニ「上官ハ部下ヲ過スルニ骨肉ノ情ヲ以テシ云々」「融々和樂ノ間其ノ團結ヲ鞏固ニシ上下相愛シ緩急相救ヒ云々」等ト明示セラレ第十二ハ「自己ニ對スル他人ノ取扱不條理ト考フル場合ノ處置」第百七十一ニハ「寬嚴宜シキニ從ヒ和氣霽々ノ裡軍隊家庭ノ實云々」等ト規定セラレ私的制裁ヲ戒シメテ餘蘊ナシト言フヘシ

###### 2 幹部自身私的制裁ヲ慎シムヲ要ス

然ルニ此ノ軍隊内務ノ要義ノ理解體得ニ於テ徹底セス若クハ誤解シアルモノ尠カラス又幹部タルノ人格修養上ニ於テ幾多ノ缺陷アルヲ窺知セラルルハ寔ニ遺憾トスル所ニシテ速ニ之ヲ是正スルノ要アリ

上級幹部自ラ前述ノ修養足ラスシテ私的制裁ヲ行ヒ爲ニ下士官、古參兵等ヲシテ之ニ倣ヒ恰モ私的制裁ヲ以テ軍隊教育ノ正當且常套手段ナルカ如ク誤解セシメ又甚シキニ至リテハ幹部自ラ之ヲ推獎シ或ハ故意ニ默過スルモノアリ、上ノ好ム所下之ニ習フハ自然ノ理ニシテ私的制裁ヲ取締ラントスルニハ先ツ幹部自ラ之ヲ慎

シムヲ要ス

3 私的制裁ニ對スル監視監督ノ強化

私的制裁カ幹部ノ監視不十分ナル時機場所ニ多發シアルノミナラス被制裁者カ之ヲ上司ニ報告セントスルモ却ツテ更ニ猛烈ナル制裁ヲ受クルヲ虞レテ敢ヘテ之ヲ爲サス斯クシテ此ノ種非違カ幹部監視ノ透徹セサル時ト場所ニ於テ秘密裡ニ行ハレアルハ欺クヘカラサル實情ナルカ如ク

「若軍人たるものにして禮儀を紊り上を敬はず下を惠ますして一致の和諧を失ひたらんには曾に軍隊の蠱毒たるのみかは國家の爲にもゆるし難き罪人なるへし」ト戒メラレアルニ係ハラズ今猶此ノ種非違ノ多發シアルハ軍隊ノ恥辱ト謂フヘシ即チ萬難ヲ排シテ監視監督ヲ強化シ不斷ノ徹底ヲ期スルハ私的制裁絶滅ノ爲ノ絶對要件ナリト信ス

4 懲罰權ノ適正活潑ナル行使

私的制裁ハ殆ント各部隊古參兵間ノ申送的弊風トナリアルカ如シ初年兵ハ古參兵ノ當番ニシテ小使ナリトノ觀念古參兵間ニ引繼カレ其ノ苦シムハ軍人トシテ一人前タル修業ナリ等ノ誤レル弊風ノ横行シアルハ速カニ艾除打破セサルヘカラス勿論亂シキ上下ノ情誼ヨリ發スル敬上ノ動作ハ敢ヘテ之ヲ非認スルモノニアラズト雖モ物ニハ限度アリ規矩ヲ越ユヘカラス、若シ夫レ此ノ種弊風打破ノ爲活潑ナル懲罰ヲ行使スルヲ以テ反テ上下ノ情誼ヲ破壊ストノ如キ論ヲナスモノアラハ之レ幹部ニ勇猛心ナキ證左ナリト斷セサルヲ得ス則チ神ノ如キ正明至純ノ氣持ヲ以テ適正活潑ニ懲罰ヲ實施スル所自ラ弊風根絶セラレ眞ノ意味ニ於ケル情誼ハ沛然トシテ隊内ニ溢ツルモノト信シテ疑ハス

5 特種性格者ノ發見及之等ニ對スル指導ノ適正

營部タルト兵タルトヲ問ハス制裁者ノ多クハ入隊前ヨリノ不良者、前科者、粗暴性ヲ有スル變質者其ノ他横著者激情質ノモノニ多キヲ以テ幹部ハ日常部下ト接觸ヲ密ユシ其ノ經歷、性質、素行等ヲ觀察シ各、個性ニ適應スル指導監督ヲ實施シ事故ノ未然防止ニ勉ムルヲ要ス

6 教育掛下士官上等兵ノ人選及教育指導方法

教育掛下士官上等兵等カ内務、教練等ノ成績過々タルニ焦慮シ若クハ責任觀念旺盛ノ餘リ些細ナル非違ヲ矯正スル爲不知不識ノ間ニ激昂シテ、暴行ニ訴ヘ爲ニ豫期セサル犯罪ヲ構成シ又ハ逃亡離隊者ヲ出シアル事例尠カラサルニ鑑ミ之カ人選ニ方リテハ克ク本人ノ性質行狀、學歷技倆等ヲ仔細ニ検討シテ決定スルト共ニ豫メ十分綿密ナル指示ヲ爲シ置クコト肝要ナリ初年兵掛助教手ハ初年兵ニ取リテハ他ノ何人ヨリモ信頼シ敬愛スヘキ者ニシテ其ノ循々トシテ説ク所他ノ何人ノ訓戒ヨリモ初年兵ノ心ノ琴線ニ觸ルルコト深刻ナルハ敢ヘテ喋々スルヲ要セス助教助手カ其ノ初年兵ノ非違或ハ不成績ニ際シ自ラノ不明不徳ヲ反省シ其ノ足ラサルヲ憂ヒ更ニ創意工夫ヲ凝ラシテ指導スルカ如キ熱烈ナル責任觀念乃至眞劍味アラハ惡質ノ初年兵ト雖モ其ノ誠心ニ感激シテ誤ツテ行ハレタル制裁ノ如キ鍛鍊ノ錘トシテ甘受シ益、發奮スヘシ

二 被制裁者側ニ對スル所見

私的制裁特ニ犯罪上ニ現ルルカ如キモノニ於テハ被制裁者側ニモ一面ノ責ノ存スルハ否定シ得サル所トス例ヘハ軍紀觀念缺如シ服從心ニ乏シク敬禮ノ履行不確實或ハ不良若クハ態度不良ナルコト等ニ基因スルモノ大部ニシテ更ニ酒癖、粗暴、放縱、怠惰、意志薄弱、反省心缺如ノモノ、心性歪曲者等ノ性格的缺陷者、前科者及再度ノ制



私的制裁ニ基因スル犯罪ノ種類別比率表

考 備	計 果		年六十和昭		年五十和昭		年四十和昭		年三十和昭		年二十和昭		別 年		
	比 率	發 生	比 率	發 生	比 率	發 生	比 率	發 生	比 率	發 生	比 率	發 生	分 區	罪 名	
二一 本表ハ私的制裁ニ基因シ發生シタル各犯罪ト同種ノ犯罪總數トノ比較ヲ示シタルモノトス 比率ハ小數點以下二位四捨五入ス	4.8%	1 21	33.3%	1 3		5		3		9		1	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	人 殺	制 裁 者 側ノ犯罪
	37.6%	109 290	25.5%	11 43	46%	29 63	34.9%	29 43	40%	18 45	88%	29 76	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	害 傷	
	45.5%	5 11	100%	2 2	100%	1 1	2.5%	1 4	33.3%	1 8			數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	行執務職 害 妨	
	40%	2 5				1 2	1.00%	1 1			100%	1 1	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	行暴兵喧 辱 侮	
	33.3%	1 3			33.3%	1 3							數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	虐 凌	
	35.8%	118 330	14.6%	14 49	41.9%	91 74	33.8%	24 71	33.3%	19 57	38%	80 79	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	計 小	
	7%	50 716	14.6%	7 48	12.2%	5 41	7%	5 71	6%	29 480	5.3%	4 76	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	犯官上對	被 制 裁 者 側ノ犯罪
	3.3%	24 727	4.2%	7 166	2.6%	6 229	2.9%	5 175	1.8%	2 109	8.3%	4 48	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	亡 逃	
	3.8%	12 316	4%	3 77	3.7%	3 82	2.7%	2 75	1.9%	1 53	10.3%	3 29	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	物用軍 棄 毀	
	0.3%	1 290	2.3%	1 43		63		63		45		76	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	害 傷	
	6.9%	2 89			9.1%	1 11		4		5	14.8%	1 7	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	脫免役兵	
	4.3%	89 2088	5.2%	18 346	8.5%	15 426	8.1%	12 388	4.6%	32 692	5.1	12 236	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	計 小	
	8.6%	207 2418	8.1%	32 395	9.2%	46 500	7.8%	36 459	6.8%	51 749	13.3%	42 315	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	計	
	2.2%	12 539	4%	3 75	2.2%	3 134	1.5%	2 134	2.3%	9 87	1.8%	2 109	數者罪犯ルニ因基ニ裁制的私 數者罪犯總	殺 自	

私的制裁ヲ受ケタル動機調査表(肉體的)

原	因	方法	場所	時			初年兵	二年兵	平均
				朝	晝	夕			
兵器手入不良ノタメ	肉體的	内務班				三・三三%	八・六二%	五・九一%	
連帯責任ノタメ	同	同				三・三三%	七・八三%	五・四八%	
教練中ノ動作不良	同	練兵場				一・四六%	六・五二%	三・九九%	
原 因 不 明	同	舍 後				二・二九%	五・二二%	三・七五%	
戦友ノ洗濯不十分	同	内務班				一・六七%	四・三二%	三・〇一%	
戦友ノ洗濯ノタメ入浴ニ行カス	同	同				一・六三%	四・三二%	三・〇一%	
食事分配不公平	同	同				一・六七%	四・一四%	三・〇一%	
聲ノ小サキモノ	同	同				二・〇八%	三・四七%	二・七七%	
兵器手入具紛失	同	同				一・〇四%	三・四七%	二・七五%	
演習整列遅シ	同	舍 前				一・〇四%	四・三五%	二・六九%	
服装態度悪シ	同	同				一・八八%	三・三四%	二・六一%	
軍隊用語不慣ノタメ	同	石廊下				四・二二%	四・三五%	二・三八%	
漏上靴手入不良	同	内務班				二・〇八%	二・六一%	二・三四%	
點呼準備不十分	同	同				一・六七%	二・六一%	二・一四%	
不潔ナル靴下ヲ寢臺下ニ隠ス	同	同				六・三三%	三・九一%	一・九八%	
命令諸注意記憶不良	同	舍 前				六・三三%	三・〇四%	一・八三%	
被服ノ註記不十分	同	内務班				六・三三%	二・六一%	一・六二%	
兵器破損ノタメ	同	同				四・二二%	二・六一%	一・五二%	
砲ノ手入遅シ	同	砲廠				六・三三%	二・一七%	一・四二%	
食事運搬ノ際炊事ニテ煙草ヲノム	同	炊事				四・二二%	二・一七%	一・二八%	
班長ノ卷脚絆ヲ卷カス	同	内務班				四・二二%	二・一七%	一・二八%	
内務班ノ清潔整頓不良	同	同				八・四四%	一・六一%	一・二二%	
環境ノ整備不十分	同	同				六・三三%	一・七四%	一・一八%	
金錢出納簿整理不良	同	同				一・〇四%	一・三〇%	一・一七%	
勅諭記憶不十分	同	同				四・二二%	一・七四%	一・〇八%	
氣 合 ヲ 抜 ク	同	舍 後				四・二二%	一・七四%	一・〇八%	
食糧返納ニ出テス	同	同				二・二一%	一・七三%	九・七七%	
内務班ノ掃除遅シ	同	内務班				二・二一%	一・七三%	九・七七%	
被服ノ手入不十分	同	同				一・〇四%	八・七二%	九・五五%	
被服員數紛失ノタメ	同	同				一・〇四%	八・七二%	〇	
敬禮動作不十分	同	石廊下				八・四四%	八・七二%	八・五五%	
動作緩慢ノタメ	同	内務班				八・四四%	八・七二%	八・五五%	
初年兵集合シ「ホラ」ヲ吹ク	同	同				二・二一%	一・三〇%	七・八八%	
内務班ニテ煙草ヲ吸フ	同	同				二・二一%	一・三〇%	七・八八%	
點呼後靴下ヲ脱ス	同	舍 前				四・二二%	一・〇八%	七・五五%	
枕ノ洗濯不良	同	内務班				六・三三%	八・七七%	七・五五%	
貴重品取扱不良	同	高良臺				六・三三%	八・七七%	七・五五%	
古兵ノ食器ヲ紛失	同	同				二・二一%	八・七七%	五・四四%	
起床時窓ノ開閉悪シ	同	同				二・二一%	八・七七%	五・四四%	
消燈後起キテ居タタメ	同	同				二・二一%	八・七七%	五・四四%	
厩毛布ヲ持參セスタメ	同	厩				六・三三%	四・四四%	五・三三%	
食器手入及註記不良	同	内務班				四・二二%	四・四四%	五・二二%	
△一等兵ニナリ生意氣ナリ	同	舍 後				四・二二%	四・四四%	五・二二%	
蚊帳ノ擴方不十分ナリ	同	内務班				二・二一%	六・三三%	四・三三%	
工場ニ行カスタメ	同	下士官				二・二一%	六・三三%	四・三三%	
金錢貸借ノタメ	同	内務班				二・二一%	四・四四%	三・三三%	
△古兵ヨリ外出歸リ遅キタメ	同	舍 後				二・二一%	四・四四%	三・三三%	
服装態度不良	同	内務班				二・二一%	四・四四%	三・三三%	
襟布ヲ着ケカエヌ	同	同				四・二二%	〇	二・二一%	
中隊ノ家訓ヲ忘レタ	同	同				二・二一%	〇	一・〇一%	
上等兵ニ殿ト云ワスタメ	同	同				二・二一%	〇	一・〇一%	
編成替ヲ班長ニ申告セヌ	同	同				二・二一%	〇	一・〇一%	
貯 金 カ 少 イ	同	同				二・二一%	〇	一・〇一%	
物ヲ喰ヒ乍ラ廊下ヲ歩ク	同	石廊下				二・二一%	〇	一・〇一%	
射撃前進者ノ朝食ヲ忘ル	同	内務班				二・二一%	〇	一・〇一%	
肩章ナシノ古兵ニ缺禮シ	同	舍 後				二・二一%	〇	一・〇一%	
入浴中「ホラ」ヲ吹キ	同	内務班				二・二一%	〇	一・〇一%	
外出歸隊ヲ報告セヌ	同	下士官				二・二一%	〇	一・〇一%	
勉強シナイ	同	同				二・二一%	〇	一・〇一%	
床ノ上ゲ方不良	同	内務班				二・二一%	〇	一・〇一%	
先任上等兵ヲ兄貴ト呼ビ	同	同				一・〇一%	〇	〇・五五%	

備 考  
 一 本表ハ私的制裁ニ基因シ發生シタル各犯罪ト同種ノ犯罪總數トノ比較ヲ示シタルモノトス  
 二 比率ハ小數點以下二位四捨五入ス

私的制裁ヲ受ケタル動機調査表(精神的)

原	因	方法	場所	時			初年兵	二年兵	平均
				朝	晝	夕			
連帶責任ノタメ	精神的	同	内務班				一〇・四% 五	五二・三% 二	三一・三%
言葉使ヒカ悪イ	同	同	同				二・二% 一	三四・八% 八	一八・四%
兵器ノ手入不良	同	同	同				四・二% 二	二六・一% 六	一五・一%
言語不明	同	同	同		○		四・二% 二	二一・七% 五	一二・九%
班長ノ食事遅シ	同	同	同				四・二% 二	二一・七% 五	一二・九%
被服ノ手入不良	同	同	同				四・二% 二	二一・七% 五	一二・九%
敬禮動作不良	同	同	舍前				二・二% 一	一七・四% 四	九・七%
貴重品不始末	同	同	内務班				二・二% 一	一七・四% 四	九・七%
環境整備不良	同	同	同				二・二% 一	一七・四% 四	九・七%
點呼準備不充分	同	同	同				二・二% 一	一三・〇% 三	七・五%
金銭出納簿記入不良	同	同	同				二・二% 一	一三・〇% 三	七・五%
食器ノ洗滌及後始末	同	同	舍後		○		二・二% 一	一三・〇% 三	七・五%
内務班ノ清潔整頓不良	同	同	内務班				六・三% 三	八・七% 二	七・五%
態度不良	同	同	舍前		○		二・二% 一	八・七% 二	五・四%
消燈後ノ後片付不良	同	同	内務班				二・二% 一	八・七% 二	五・四%
食事ノ公平ナル分配ニツキ	同	同	同		○		二・九% 一	七・七% 二	五・三%
精神訓話ノ折居眠シタ	同	同	下士室				二・二% 一	六・三% 一	四・二%
營内靴ニ水ヲ入レ	同	同	内務班				八・四% 四	〇・〇% 〇	四・二%
注意ヲ忘レテ	同	同	同				八・三% 四	〇・一% 〇	四・二%
満洲歸リノ初年兵ハツマラヌ	同	同	舍前				二・二% 一	〇・〇% 〇	一・〇%
残飯ヲ殘シテ	同	同	舍後		○		二・二% 一	〇・〇% 〇	%
診断ヲ受ケスブラシテ	同	同	内務班		○		二・二% 一	〇・〇% 〇	%
防毒面ヲ掛ケタママ食事	同	同	同				一・〇% 〇	〇・〇% 〇	〇・五%

私的制裁ヲ受ケタル動機調査表(物質的)

原	因	方法	場所	時			初年兵	二年兵	平均
				朝	晝	夕			
古兵ノ酒代ヲ支拂フ	物質的	同	外出先				二・二% 一	一七・四% 四	九・七%
平尾臺ヨリ歸營日古兵ノ慰勞ノタメ菓子ヲ買ハサル	同	同	酒保				二・二% 一	〇・〇% 〇	一・〇%
上等兵除隊ノ折記念ヲセト云ハレ	同	同	内務班				二・二% 一	〇・〇% 〇	一・〇%
出金スル	同	同	同				二・二% 一	〇・〇% 〇	一・〇%

備考 本調査ハ西部〇〇部隊ニ於テ初年兵四八名(在營期間八ヶ月)、二年兵二三名(在營期間一年七ヶ月)ニ對シ無記名ニ依リ提出セシメタル資料ニ基キ調査ス、%ハ同一條件ノ下ニ制裁ヲ受ケタル延人員數ノ初年兵數又ハ二年兵數ニ對スル比率ナリ

附錄  
一 私的制裁ニ基因スル主要犯罪事例

毀軍逃 用棄物亡	傷害致死	傷 害	傷 害	罪 名
野砲 三 (二) 一兵 一	飛 七 現伍長 一	砲 二二 現伍長 一	輻 一八 現伍長 一	所 屬 等役 人種 員官
同至昭自 二、 八、 八、 三、 〇	昭二、 七、 四	昭二、 二、 二	昭二、 一、 四	犯 行 月 日
軍故居同カ初年 帽ナ所人應年 軍ク不ニ召兵 靴職明對後當 ヲ役ノス依時 投ヲ爲ル病私 棄離目復歸的 スレヲト裁制 六日果企ナヲ ヲサ圖リ受ケ 過キ其離ルケ 走ノ隊旨二 走徒セ開年 中途走モシ兵	象打兵週 腦昏ニ番 内倒缺下 出セシト 血シシ官 ノメタト 傷後ルシ 害頭ヲテ ヲ部訓服 與挫戒務 へ創ス中 致頭へ初 死蓋ク年 セ底同兵 シ骨兵カ ムマヲ上 折強等	眼鞭番兵内 球ヲヨ一務 ヲ以リカ班 突テ報内長 キ右告務ト 遂煩ヲ班シ ニヲ受ニテ 失殿ケ於服 明打同テ務 セセ人喫中 シムト叱シ シ過スル時 ツヘ皆頃 テク不初 右竹寢年	與對ニ聞兵特 フシ整知カ務 全列シ助兵 治セ所手教 七日メ中育 乃木隊上 至銃特等 十日テ兵一 ヲ殿二ヲ 要打十殿 スシ中名シ ル傷十ヲ ヲ害名營 ニ庭旨務	犯 行 ノ 概 要
				摘 要



傷害	傷害	用上官兵暴行	殺用上官兵暴行	傷害
歩 二四	野砲校	歩 二二五	歩 六三	輻 一〇
(豫)上兵 二一兵 一	軍曹 一	(三)兵 一	(四)兵 一	豫伍長 一
昭一五、一、一六	昭一四、一〇、八	昭一四、四、二	昭一四、二、五	昭一四、一、二五
ヲ班ズル日中列列教スセ熊レ唱同 要員ツモ夕一兵兵練 スノク不點七名二ノ實 ル類製明呼二名十勳施 傷ヲ上ナ時二一作中 害殿靴リ洗全名緩己 ヲ打ニシ矢治ノ慢ナ 與シテ爲折一前ナ フ一連損廻額ニ令 名回帶ノヲ傷二愾底 對至任者ヲ害回劍セ シノノ者ヲヲ宛身サ 治回康ヲ調與殿ヲリ 療交ヲ調以查フ打以 十互以查フ打以シ爲 日ニテセ	ヲ班ズル日中列列教スセ熊レ唱同 要員ツモ夕一兵兵練 スノク不點七名二ノ實 ル類製明呼二名十勳施 傷ヲ上ナ時二一作中 害殿靴リ洗全名緩己 ヲ打ニシ矢治ノ慢ナ 與シテ爲折一前ナ フ一連損廻額ニ令 名回帶ノヲ傷二愾底 對至任者ヲヲ宛身サ 治回康ヲ調與殿ヲリ 療交ヲ調以查フ打以 十互以查フ打以シ爲 日ニテセ	ヲ班ズル日中列列教スセ熊レ唱同 要員ツモ夕一兵兵練 スノク不點七名二ノ實 ル類製明呼二名十勳施 傷ヲ上ナ時二一作中 害殿靴リ洗全名緩己 ヲ打ニシ矢治ノ慢ナ 與シテ爲折一前ナ フ一連損廻額ニ令 名回帶ノヲ傷二愾底 對至任者ヲヲ宛身サ 治回康ヲ調與殿ヲリ 療交ヲ調以查フ打以 十互以查フ打以シ爲 日ニテセ	ヲ班ズル日中列列教スセ熊レ唱同 要員ツモ夕一兵兵練 スノク不點七名二ノ實 ル類製明呼二名十勳施 傷ヲ上ナ時二一作中 害殿靴リ洗全名緩己 ヲ打ニシ矢治ノ慢ナ 與シテ爲折一前ナ フ一連損廻額ニ令 名回帶ノヲ傷二愾底 對至任者ヲヲ宛身サ 治回康ヲ調與殿ヲリ 療交ヲ調以查フ打以 十互以查フ打以シ爲 日ニテセ	ヲ班ズル日中列列教スセ熊レ唱同 要員ツモ夕一兵兵練 スノク不點七名二ノ實 ル類製明呼二名十勳施 傷ヲ上ナ時二一作中 害殿靴リ洗全名緩己 ヲ打ニシ矢治ノ慢ナ 與シテ爲折一前ナ フ一連損廻額ニ令 名回帶ノヲ傷二愾底 對至任者ヲヲ宛身サ 治回康ヲ調與殿ヲリ 療交ヲ調以查フ打以 十互以查フ打以シ爲 日ニテセ

物行器黨毀軍	毀軍	暴黨	同脅上抗	妨職務	窃傷強逃
毀傷官暴	用棄物	行傷上	侮官暴	務執行	盜盜未
棄器暴		害官	辱迫行命	害行	害害亡
		山砲 二五	歩 三五	歩 五九	工 二〇
衛衛 一上 兵兵 一五七	現衛 軍曹 一	豫豫 一上 兵兵 一四〇一	現軍 曹 一	現軍 曹 一	補二 兵 一
昭一三、七、一四			昭一三、三、二七	昭一二、九、二九	同至昭自 一二、八、二九 一〇、二二
ン器黨夜打教 ト物與窃セ練 血ヲシニラ中 痕毀テ飲タ不 附損兇酒ル軍 著ノ器酷ニ紀 襦曹用ノ反的 祥一ヒ上ヲ爲 ヲハ暴同抱ヲ 投右行軍キナ 棄犯傷曹原軍 ス罪害ノ除軍 ヲ下復曹一 隱與歸一 蔽へ到ノニ セ且リ前殿	害行シセ些 ヲシテラ細 與頭同レナ フ部軍タル 共曹ルコト 他ノニト ニ居反ニ 全室感付 治ニヲ軍 二殺抱曹 週倒キ一ヨ ヲ人隊リ 要ヲ前履 ス殿夜々 ル打黨殿 傷暴與打	喉サヨ入外ス 喉リリリ出ス 部シ再ク先 ヲ爲度ルニ メ打室少テ 且セ方尉飲 辱ヲ一酒醜 脅レ命醜醜 迫昂ラ體歸 的ノレセシ 辭リル爲事 ヲ反モ同務 弄擊應少室 スシセ尉ニ	ヲ中シシ醜未 出ナ且モ面 打リ自ノノ 處シシト上 ニ衛ヲノ誤 ア兵發教認 ラ司見育衛 カ令セル兵 ト制カ喇叭 同スル手カ ヲ一ト兵務 殿オ同服詰 打前兵務間	未ク隊中後 遂職生耳班 傷役活ヲ付 害ヲヲ伍裁 窃物離起七 詐六忌シヨ 欺日病軍叱 罪ヲ院病責 行シ出ヲ院 逃逃院ヲ解 ス逃逃院ヲ 間シル外傷 強故ヤ傷 盜盜ナ軍性	

殺令辱 違職(反)哨 人	傷 害	詐毀軍 欺橫用 領棄物
高雄要塞	歩 一一一	歩 一二八
補二兵	一兵(二)	上班班 等附長 兵
昭一六、一一、一七	昭一六、一、一四	昭至昭自 一五、九、六 一六、三、五
突即年上動 死式等哨 七銃兵中 シ劍ヲ認 ムヲ以テ 同兵ノ昂 部殺意横 ヲ生シ居 三刺	性粗暴隊 務ノ成績 悪ク素行 不良ノ者 ナ	入隊後内 務班ニ於 テ全員整 列ノ上長 班並附 上打
		八時召集 十五日依 日私

殺 人	傷 害	傷 害	凌 虐	傷上官 暴行
野戰重 二五	飛 一四	歩 一一七	歩 八〇	歩 四〇
現中尉 一	豫少尉 一	伍長 一	(二)二兵 一	(初)二兵 一
昭一六、六、一	昭一六、八、二	昭一五、一、一	昭一五、六、二九	昭一五、四、二四
ヒ酌上 軍注ノ記 刀意上將 ニヲ經校 テ興理ハ 殺部聯 害校創 セラ爲一 ル同記 將對念 校シ日 ノ殊ノ 憤更祝 ヲ激ニ宴 買侮中 買辱	月ヲ下 要士官 ノノ 創傷上 ヲ胸ニ 下部 ニ全 治一ケ	名當少 ヲリハ 際矯委 ノ正勢 脱ヘ正 膝落ク ヲ自ト 胸ノ動 下部 ニ全 治一ケ	ヲ八木班 與名銃員 フノヲノ 頭以兵士 部テ器官 ニ順手ニ 夫次入見 キ班不各 一員良メ 週ノナラ 間頭ヲク ヲ部ヲ矯 要ヲ正ト スル打セ 裂ン一 傷兵ト	傷小ノ修 害島目業 ヲカニ的 與部ル修 フヲモ々業 刺同激訓 突倭昂戒 失ニ拔ヲ 明制ノケ セ止ノ類 シセ上暴 メラ行ヲ 他レヲ殿 一ノ其ヲ 名際ヘ打 ニ一ンラ

119	3457	110	3458	118	3870	117	3537	116	3538	115	3553	114	3617	113	3699	112	3776	111	3810	110	3872	109	3912	108	3943	107	3994	106	3994	105	3994	104	3994	103	3994	102	3994	101	3994	100	3994	99	3994	98	3994	97	3994	96	3994	95	3994	94	3994	93	3994	92	3994	91	3994	90	3994	89	3994	88	3994	87	3994	86	3994	85	3994	84	3994	83	3994	82	3994	81	3994	80	3994	79	3994	78	3994	77	3994	76	3994	75	3994	74	3994	73	3994	72	3994	71	3994	70	3994	69	3994	68	3994	67	3994	66	3994	65	3994	64	3994	63	3994	62	3994	61	3994	60	3994	59	3994	58	3994	57	3994	56	3994	55	3994	54	3994	53	3994	52	3994	51	3994	50	3994	49	3994	48	3994	47	3994	46	3994	45	3994	44	3994	43	3994	42	3994	41	3994	40	3994	39	3994	38	3994	37	3994	36	3994	35	3994	34	3994	33	3994	32	3994	31	3994	30	3994	29	3994	28	3994	27	3994	26	3994	25	3994	24	3994	23	3994	22	3994	21	3994	20	3994	19	3994	18	3994	17	3994	16	3994	15	3994	14	3994	13	3994	12	3994	11	3994	10	3994	9	3994	8	3994	7	3994	6	3994	5	3994	4	3994	3	3994	2	3994	1	3994
119	3457	120	3458	121	3537	122	3538	123	3553	124	3617	125	3699	126	3776	127	3810	128	3870	129	3912	130	3943	131	3994	132	3994	133	3994	134	3994	135	3994	136	3994	137	3994	138	3994	139	3994	140	3994	141	3994	142	3994	143	3994	144	3994	145	3994	146	3994	147	3994	148	3994	149	3994	150	3994	151	3994	152	3994	153	3994	154	3994	155	3994	156	3994	157	3994	158	3994	159	3994	160	3994	161	3994	162	3994	163	3994	164	3994	165	3994	166	3994	167	3994	168	3994	169	3994	170	3994	171	3994	172	3994	173	3994	174	3994	175	3994	176	3994	177	3994	178	3994	179	3994	180	3994	181	3994	182	3994	183	3994	184	3994	185	3994	186	3994	187	3994	188	3994	189	3994	190	3994	191	3994	192	3994	193	3994	194	3994	195	3994	196	3994	197	3994	198	3994	199	3994	200	3994																																																																												
年未賞與ニ関スル件	年未賞與ニ関スル件	陸軍技師、陸軍技士ヨリ技術部將校ニ任ゼラレタル者ニ對シテ補備數	昭和七年度陸軍航空部隊ニ於テハ航空技士士官補備ニ関スル件	戦死及戦死(死亡)確認ニ別ニ関スル件	陸軍航空士官学校第二十三期学生入校時期延期ニ関スル件	昭和十七年度徵集現役兵中各部見習士官、技術候補生及操縦候補生ノ各採用豫定者ノ取扱ニ関スル件	私的制裁ニ関スル件	陸軍病院衛生兵派遣規則中改正件 (修繕期)	陸軍航空諸学校少年飛行兵下士官候補者ノ生徒ニ在ル	轉補御禮ニ関スル件	陸軍	戰時陸軍報告現程第九條戰地指定ノ件	昭和十七年度幹部候補生採用等ニ関スル件	主計中少尉ノ位置ニ對シテ主計准尉ノ採用ニ関スル件	陸軍航空学校ニ種學生同内種學生ノ修学期内短縮ニ関スル件	陸軍補給令第百三十一條ノ技術ニ関スル件	私的制裁ニ関スル件																																																																																																																																																																																																																														

陸軍



六	二八	一一八二一	〇五	不健康業務加算ニ因ル件
六	三〇	一八四四	〇六	陸軍徵用規則廢止件
七	五	一九三五	〇七	將校ノ言勸取締ニ因ル件
七	五	一九一九	〇八	陸軍航空技術研究所ノ出張所ノ名稱及位置ニ因ル件
七	五	一九二〇	〇九	陸軍航空部甲種學生及乙種學生修学期同短縮ニ因ル件
七	七	五 <sup>滿</sup> 一八 <sup>密</sup> 八	一〇	在滿部隊ニ赴任スル者ノ出發日數ニ因ル件
七	七	一九三八	一一	陸軍航空部諸學校學生ノ修学期同短縮ニ因ル件
七	九	一九八一	一二	兵科士官候補生(航空)同隊ノ者ノ除クノ陸軍補充令第五條ニ規定スル修学期同短縮ニ因ル件
七	一〇	一九九一	一三	昭和十六年陸軍飛行學校修業令ノ修業令第五條ノ規定ニ適合セシムル者ノ修業令同短縮ニ因ル件
七	一	二〇一二	一四	航空兵團轄下部隊及自衛隊子陸軍飛行學校教導飛行團ヲ含ミ、滿洲朝鮮相互間ニ於テ滿洲官吏ニ因ル件
七	二	二〇四七	一五	軍人軍属ノ通信取締ニ因ル件
七	一四	二〇六六	一六	滿洲在勤ノ軍人軍属ノ家族旅行ニ因ル件
七	一四	二〇六一	一七	陸軍總務學校丁種學生ノ修学期同短縮ニ因ル件
七	一四	二〇五六	一八	恩給請求ニ際シテ復丁書ノ調製ニ因ル件
七	一四	二〇五五	一九	携行定者食ノ品類ニ因ル件
七	一七	二一〇四	二〇	陸軍獸醫學校乙種學生ノ修学期同短縮ニ因ル件
七	一七	二一〇三	二一	新任將校ノ初任、世村ノ令ニ依リ、新服及軍裝品ヲ貸與シ又ハ借用セシムル件
七	一九	二一四三	二二	陸軍航空部令及陸軍航空部令ノ第一條第一項規定ニ依リ各陸軍航空部令陸軍航空部令ノ施行令ニ依リ、各陸軍航空部令ニ因ル件
七	一九	二一四二	二三	陸軍病院、隷屬又令ニ因ル件
七	二九	二二九七	二四	軍人軍属ノ通信取締ニ因ル件
七	二九	二二八九	二五	勸員(臨時)等ヲ含ミ、部隊ノ旅行ニ必要取扱費令ニ因ル件
八	一二	二四七一	二六	陸軍諸學校兵令遺規則

陸 軍

五	二九	一四四八	53	陸軍病院衛生兵派遣規則ノ件
五	三〇	一四五五	54	兵技下士官特業区分制定ニ伴フ各部隊教育ニ関スル件
五	二〇	一四五六	55	増加配属等ノ取扱ニ関スル件 掛刺ニ因ル件
六	一四	一四五	56	東京新京間定期旅客機陸軍借上座席ニ付ル軍人官属
六	一四	一四五	57	陸軍平時編制中ノ補充兵ニ付ル教育召集ノ回数ニ関スル件
六	三一	一五〇五	58	昭和十六年度採用スルキ衛生部獸医部兼年度ノ人員圖件
五	二七	一四二九	59	軍機保護法施行ニ関スル件中改正件
六	五	一五四一	60	陸軍秘出書類取扱上ノ注意ニ関スル件
六	五	一五九六	61	郵便電信等ノ宛名記載方ニ関スル件
六	一一	一六二四	62	陸軍給與令細則ノ規定ニ依ル被服ノ定数表ノ改正ノ件
六	七	一五七一	63	陸軍旅費規則ノ特例ニ関スル件
六	一一	一六三三	64	陸軍病院附衛生兵中務務ニ服セシムベキ人員ノ件
六	一五	一六七六	65	陸軍技術本部第六、第七、第九研究所參觀ニ関スル件
			66	内地各部隊電話番號簿
六	二〇	一七二三	67	一地ニ二以上アル陸軍病院ニ收容スルキ患者ノ部隊区分件
六	二〇	一七二二	68	昭和五年陸軍連第八號陸軍制服制並ニ器具ノ制式ニ依ル襟部徽章ノ制式並ニ襟章及襟部徽章ノ附著要領中改正件
六	二三	一七五六	69	露語通譯要員補備教之日要領中改正件
六	二三	一七六二	70	第三次及第四次露語通譯要員補備教育要領中改正件
六	二五	一七八二	71	陸軍平時備入定員並ニ嘱託及傭人ノ産休ニ因ル件
六	二七	一八〇八	72	退管又八百集解除ノ際ニ於テ下士官、兵ノ進級・任官比率ニ因ル件 率ニ因ル件中改正件
六	二七	一八〇七	73	臺灣ニ在ル陸軍氣象部觀測所ノ業務ニ関スル件
六	二八	一八二二	74	陸軍航空士官學校學生ノ修学期間短縮ニ関スル件

陸 軍

五	五	五	五	五	五	五	四	四	四	三
二六	二二	一八	一五	一四	八	六	二八	二四	一八	一五
一四一八	一三八四	一三四七	一二九七	一二八四	一一一四	一一九二	一一四五	一一一九	一〇四九	五八二
52	51	50	49	48	47	46	45	44	43	42
陸軍航空諸學校ノ分教所ノ名稱及位置件 改正件	分業等種類及略符號件	陸軍給與令細則第五十二條規定依ル中隊ニ準ズル指定件	陸軍出張規則中改正件	昭和十六年度採用ノ少尉候補者受驗者ノ隊種ニ関スル件	昭和十六年度採用ノ少尉候補者受驗者ノ隊種ニ関スル件	陸軍給與令細則規定依ル被服ノ定數表改正ノ件	採用數等ニ関スル件 昭和十六年度採用ノ少尉候補者 採用數等ニ関スル件	第三次、第四次露語通譯要員補備教育要領書改正件	日ソ中立條約締結ニ伴フ軍ノ態度ニ関スル件	年未賞與特別增加追給ニ関スル件

陸 軍

一	三〇	二五三	20	軍備改變三件、学校教練之實施ニ関スル件
二	一	二六七	21	借行社記事特號用資材提出ニ関スル件
三	三	二七六	22	学校配属將校命課取扱内則改正件
四	四	二八〇	23	陸軍兵機(秘)密取扱規程追加、削除件
五	四	二八六	24	滿洲國ニ於テル加算一覽配付ノ件
六	七	三三二	25	陸軍大学校第五十四期學生ノ修業期間ニ関スル件
七	一四	三九〇	26	航空関係准士官、下士官及兵ノ特業別ニ関スル件
八	一四	三九一	27	技術部航技下士官假禱者教育規則ニ関スル件
九	一四	三九二	28	技術部航技兵教育規則ニ関スル件
一〇	一七	四〇九	29	考料表、兵籍、戰時名簿、停年名簿及勤員計畫書等類等之記載スル佐官、兵機区分ニ関スル件
一一	一七	四〇九	30	戰時諸勤務令現定ノ諸報告整理ノ細部ニ関スル件
一二	六	五九一	31	紀元二千六百年祝典記念章授與資格者調査ノ件
一三	七	五九八	32	陸軍軍人軍属ニ張規則改正ノ件
一四	七	五九八	33	後備役制ノ廢止ニ伴フ豫備役兵ノ次別ニ関スル件
一五	七	六〇一	34	考査表、兵籍、戰時名簿、停年名簿及勤員計畫書類等ニ記載スル兵機部隊所屬佐官ノ兵機区分ニ関スル件
一六	一五	六三〇	35	軍隊教育令別冊中改正ノ件
一七	一五	六七〇	36	航空勤務者保護賜金令等適用ニ関スル件
一八	一五	六七四	37	今年度末查査與等ノ一部公債買入ニ関スル件
一九	二二	七四九	38	昭和十六年度陸軍憲兵學校ニ出スル入生計官並兵科ノ部ノ候補者人員ニ関スル件
二〇	二四	七六〇	39	陸軍軍用印刷物改正ニ伴フ陸軍秘密書類取扱内則中改正ノ件
二一	二五	七七四	40	特別支預特種ヨリ現役上房ノ者ノ採用並ニ教育ノ房派遣等ニ関スル件
二二	三一	八三一	41	第三次、第四次需給運賃委員陣務令ニ関スル件

陸 軍



昭和拾六年度陸密 目次

年月日	番	號	丁	件名
滿 二 九	密 一 〇	九 七	一	關東州及滿洲國ニ在ル部隊ヨリ患者トシテ送送セラルル者ノ所屬ニ関スル件
一 二 〇	一 〇	二 七	二	陸軍檢閲令ノ特例ニ関スル件ニ改正件
一 二 一	一 〇	二 七	三	機動部隊要員採用試験委員設置要領件
一 二 二	一 〇	二 八	四	陸軍經理學校了輝學生ノ修学期間短縮ニ関スル件
一 二 三	一 〇	二 八	五	軍用電報發信ニ関スル件
一 二 四	一 〇	二 九	六	陸軍演習規則改正ニ関スル件
一 二 五	一 〇	二 九	七	現役下士官一時定員外増置ニ関スル件
一 二 六	一 〇	二 九	八	豫備役兵技下士官ノ特別補充ニ関スル件
一 二 七	一 〇	二 九	九	陸軍編制ニ於ケル兵長ノ定員、技術部將校ヲ以テ充ツヘキ位置及定員並ニ技師部進士官、下士官及兵ノ定員ニ関スル件
一 二 八	一 〇	二 九	十	陸軍平時編備人ノ定員並ニ嘱託、雇員及傭人ノ雇席ニ関スル件
一 二 九	一 〇	二 九	十一	陸軍兵器器械(銃)密附規程中追加、削除ノ件
一 三 〇	一 〇	二 九	十二	軍旗及軍旗條ノ取扱下防諜ノ關係ニ関スル件
一 三 一	一 〇	二 九	十三	昭和十六年度幹部候補生採用及學校等分遣ノ時期ニ関スル件
一 三 二	一 〇	二 九	十四	諸兵通信手、無線通信手並ニ通信手教育施設ノ件
一 三 三	一 〇	二 九	十五	輜重兵持務兵技助衛兵ノ廢止ニ関スル件ニ改正件
一 三 四	一 〇	二 九	十六	豫備役兵技下士官ノ特別補充ニ関スル件
一 三 五	一 〇	二 九	十七	新設部隊中隊或存部隊ノ部隊番号ヲ附セシメ部隊設定ニ関スル件
一 三 六	一 〇	二 九	十八	豫備役下士官ノ特別補充ニ関スル件ニ改正件
一 三 七	一 〇	二 九	十九	陸軍航空部隊ノ飛行演習實施ニ関スル件ニ改正件

陸 軍

名 中改軍